

川崎市生田緑地におけるサシガメ科 4 種の記録

Records of four species of the family Reduviidae (Hemiptera)
from the Ikuta Ryokuchi Park, Kawasaki City

川島逸郎*・永井一雄*

Itsuro Kawashima and Kazuo Nagai

*川崎市青少年科学館（かわさき宙（そら）と緑の科学館）
Kawasaki Municipal Science Museum

川崎市内においては、未記録あるいは記録の少ないサシガメ科 Reduviidae が得られているので、以下に取りまとめて報告する。この分類群に特に留意した採集を行ったものではなく、いわば偶然に集積された結果ではあるが、今後、とりわけ低茎の草地環境や樹幹その他を中心に意識的な探索を行うことで、小型種を含め、市域におけるこの科の知見は増えてゆくものと想定される。

なお、本報告に取り上げた標本は、現時点では登録番号は付されていないが、すべて川崎市青少年科学館に収蔵保管されている事を付記しておく。

採集記録

ピロウドサシガメ亜科 Subfamily Ectrichodiinae

アカシマサシガメ *Haematoloecha nigrorufa* (Stål, 1867)

1 ex., 多摩区枳形 7 丁目 (生田緑地・菖蒲園上), 20-V-2015, 川島逸郎採集; 1 ex., 多摩区枳形 7 丁目 (生田緑地・西口園路), 20-VI-2015, 川島逸郎採集 (図 1).

地表あるいは、低木の樹幹上を歩行中の個体を得られた。

林・尾崎 (2004) の時点では、川崎市内からの記録は多摩区下麻生 (鈴木, 1981) および川崎区水江町 (林, 1977) の 2 例がある。これらを見る限り、市域では広範に分布している可能性がある。

アシマダラアカサシガメ *Haematoloecha rubescens* Distant, 1883

1 ex., 多摩区枳形 7 丁目 (生田緑地・青少年科学館), 19-VI-2014, 川島逸郎採集 (図 2).

前種と同様に、地表付近を歩行中の個体を得られた。

石川他 (2012) によれば「少ない種」とされる。それを裏付けるように、神奈川県内においても横浜市緑区奈良町からの 1 例 (後藤, 1992) のみしかなく (林・尾崎, 2004), 今回得られた個体が川崎市から初めてのものとなる。川崎市域における生息状況を把握するには、さらなる調査および資料蓄積を要する。

トビイロサシガメ亜科 Subfamily Stenopodainae

クロトビイロサシガメ *Oncocephalus breviscutum* Reuter, 1882

1 ex., 多摩区枳形 7 丁目 (生田緑地・つつじ山), XII-2014, 永井一雄採集 (図 3).

冬季に、生田緑地の「つつじ山」の草地で得られた個体で、越冬中であつたものとみなされる。林・尾崎 (2004) によれば、神奈川県内におけるこれまでの記録は、横浜市金沢区円海山 (久保, 2000), 綾瀬市 (槐・脇, 2000), 厚木市 (槐, 1998) および川崎市 (脇・槐, 2007) の 4 例にすぎなかった。川崎市内からの記録としては、今回得られた個体は、脇・槐 (2007) における生田緑地および麻生区黒川に続く 3 例目となる。現時点では、市内における生息状況は必ずしも明らかではないが、今後、多摩川河川敷を含めた低茎の草地で綿密な調査を行うことで、新たな記録が集積されてゆく可能性がある。

ミナミホソサシガメ *Pygolampis foeda* Stål, 1859

1 ex., 多摩区枳形 7 丁目 (生田緑地・青少年科学館), 24-VI-2015, 川島逸郎採集 (図 4).

上記標本は、青少年科学館の外壁に営巣したオオヒメグモに捕食されていた遺体であるが、近縁種との区別に用いられる触角の第 1 節が残っていたため、同定には支障がなかった。本種は、近年になって県内から記録された種で (槐, 2007), それ以降は、葉山町 (川島, 2012) および南足柄市 (川島・荻部, 2013) からも報告されているが、川崎市からの記録は今回が初めてとなる。少数例ながら、このように広く分散した記録地から考慮すれば、県内では、潜在的には広範に分布している可能性が大きく、川崎市域でも今後留意する必要がある。



図 1)

図 2)

図 3)

図 4)

図 1) アカシマサシガメ標本.

図 2) アシマダラアカサシガメ標本.

図 3) クロトビイロサシガメ標本.

図 4) ミナミホソサシガメ標本.

引用文献

- 石川 忠・高井幹夫・安永智秀, 2012. 日本原色カメムシ図鑑 第3巻. 573 pp., 全国農村教育協会, 東京.
- 槐 真史, 1998. カメムシ目. 厚木市教育委員会 (編), 厚木市相模川の動植物, pp. 158-166. 厚木市教育委員会.
- 槐 真史, 2007. 久保浩一氏採集の神奈川県産サシガメ類. 神奈川虫報, (160): 1-2.
- 槐 真史・脇 一郎, 2000. カメムシ目. 動物植物データ集, pp. 349-365. 綾瀬市史調査報告書 2. 408 pp., 綾瀬市.
- 川島逸郎, 2012. 三浦半島におけるミナミホソサシガメの記録. 神奈川虫報, (178): 75.
- 川島逸郎・苧部治紀, 2013. 南足柄市「アサヒビオガーデン」で得られた半翅目 2 種の記録. 神奈川虫報, (179): 49-50.
- 久保浩一, 2000. カメムシ目. In: 円海山域自然調査会, 円海山地域の昆虫. 神奈川虫報, (130): 59-84.
- 後藤好正, 1992. 横浜市北西部の半翅類分布資料 (2). 神奈川自然保全研究会報告書, (11): 17-24.
- 鈴木 裕, 1981. 神奈川県 of 異翅半翅類. 神奈川県昆虫調査報告書, pp. 189-213. 神奈川県教育委員会, 横浜.
- 林 正美・尾崎光彦, 2004. カメムシ目 (異翅亜目・頸吻亜目) Hemiptera (Heteroptera & Auchenorrhyncha). 神奈川昆虫談話会 (編), 神奈川県昆虫誌 I, pp. 213-272, 神奈川昆虫談話会, 小田原.
- 林 長閑, 1977. 東京湾埋立地の昆虫相, I. 川崎市水江町の草地の昆虫相. 研究と評論, (18): 1-11. [未見]
- 脇 一郎・槐 真史, 2007. 川崎市生田緑地および周辺でのカメムシ目 (異翅亜目) 昆虫の採集記録. 川崎市自然環境調査報告 VI: 254-259. 川崎市教育委員会・特定非営利活動法人かわさき自然調査団.